

長州産業株式会社 本社工場は 環境負荷の低減に努めています。

長州産業株式会社 本社工場は環境保護の重要性を認識し、地域環境のみならず地球環境保護のため環境負荷の軽減に努めます。当工場は太陽光発電システム、蓄電システムをはじめとするエネルギー関連機器の製造、販売事業および半導体、液晶製造装置、有機EL製造装置、メカトロ機器装置の設計から完成品の出荷までを主業務としており、その生産活動の全般において環境負荷の少ない事業活動を推進する為のシステムを確立しています。今後も環境マネジメントシステムの継続的改善、維持管理及び汚染の予防に努めます。



長州産業株式会社 本社工場

使用上の ご注意

- 取扱説明書の指示・仕様から外れた不適切な使用は行わないでください。感電や発煙、発火、故障の原因となります。
- 取扱説明書に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・航空・燃焼装置・医療機器・娯楽機器・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途には絶対に使用しないでください。
- 医療用機器の近くには設置しないでください。医療用機器が誤作動する可能性があります。
- 機器内部は高電圧がかかっていますので、絶対に濡れた手で触ったりカバーを開けたりしないでください。感電、けが、故障の原因となります。
- 機器が異常表示していないかご確認ください。異常表示がある場合は、取扱説明書に従って対処してください。
- システムの取外し、移設、廃棄等を行う場合は、専門技術を要するため、販売・施工店、または当社までご相談ください。
- アマチュア無線等は一般家庭で使用するラジオやテレビより受信感度が高いため、機器本体や配線からの微弱なノイズがアマチュア無線等に障害を起こす場合があります。また、システムをテレビ・ラジオの放送塔、携帯電話基地局、アマチュア無線等の近くに設置するとアンテナからの電波により、機器に影響を及ぼす場合があります。このような事象の場合、システムやその他機器の障害および対策費用は保証対象外とさせていただきます。
- 保証書は、記入内容を十分に確認し、取扱説明書とともに大切に保管してください。

その他付記事項

- 製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
- 製品の色は印刷物ですので実際の色と多少異なる場合があります。
- 本カタログに掲載の製品は、日本国内専用の為、日本国外では使用できません。
- 本カタログに掲載されている画像、内容を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
- 本カタログに掲載されている画像はイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

長州産業株式会社もしくは当社販売会社と誤認させて、電話勧誘したり、お客様の意思に反して強引に販売する業者にご注意ください。
訪問販売や電話勧誘販売は消費者保護を目的とした法律※1.2の適用を受けます。※1:特定商取引法(旧訪問販売法) ※2:消費者契約法(消費者と事業者が結んだ契約全てが対象です。)

●「ECHONET Lite」は、エコーネットコンソーシアムの登録商標です。

保証の適用には、当社が認定した施工認定店による施工が必須で保証書発行までの所定の手続きを行っていただく必要があります。

ホームページでも長州産業株式会社の太陽光発電、蓄電、電動車連携製品を紹介しております。
皆様のアクセスをお待ちしております。

<https://cic-solar.jp/>



本カタログ掲載商品の価格には、配送料・設置調整費・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。

■お問い合わせ、ご相談は信用とサービスの行き届いた当店でどうぞ。

テクノロジーで豊かな明日の暮らしを創ります。

cic 長州産業株式会社

エネルギー機器本部

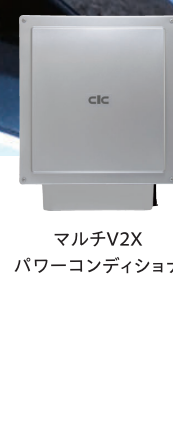
本社 〒757-8511 山口県山陽小野田市新山野井3740
TEL 0836-71-1033 FAX 0836-71-1202
東北支店 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井3-10-1
TEL 022-287-7122 FAX 022-287-7113
東京支店 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-2-4 京阪大手町ビル4F
TEL 03-5280-2660 FAX 03-5280-2635
中部支店 〒456-0002 愛知県名古屋市中区金山町1-7-5 電波学園金山第1ビル5F
TEL 052-671-3566 FAX 052-671-3551
大阪支店 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町10-34 井門江坂駅前ビル3F
TEL 06-6192-7855 FAX 06-6192-7652
九州支店 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-1-1 ZENNO筑紫通ビル4F
TEL 092-409-2212 FAX 092-409-2144
北海道営業所 〒003-0023 北海道札幌市白石区南郷通20丁目北3-28 札幌南郷ビル2F
TEL 011-374-5288 FAX 011-374-5289
北関東営業所 〒320-0807 栃木県宇都宮市松が峰1-3-16 グラン宇都宮303
TEL 028-638-6211 FAX 028-638-6234
北陸営業所 〒920-0005 石川県金沢市高柳町5-6-1 金沢SKビル2F
TEL 076-253-1252 FAX 076-253-1198
高松営業所 〒761-0301 香川県高松市林町2538-8 B101
TEL 087-815-0756 FAX 087-815-0747

マルチV2Xシステムで 安心快適EVライフ

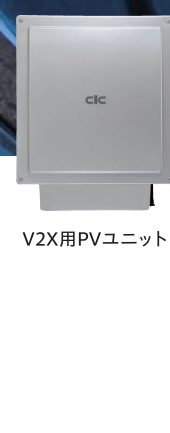
太陽電池モジュールと直接
つなげられるようになりました。
発電した電力を効率的に充電できます。



EVユニット



マルチV2X
パワーコンディショナ

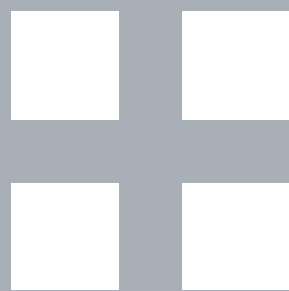


V2X用PVユニット



太陽電池モジュール

cic
長州産業



心豊かな未来へつなぐ。

「車」と「家」をつなぐ安心で快適なEVライフ

EV LIFE

CONNECTING TO THE FUTURE

私たちは今、地球温暖化による気候変動や気象災害などの危機に直面しています。安心して暮らせる未来を築くために、世界中でカーボンニュートラルへの取り組みが広がっており、家庭でも太陽光発電や蓄電池、電動車などの利用によるCO₂削減が求められています。

家から車へ、車から家へ。双方向で電力を供給できるマルチV2Xシステムは、太陽光で発電した電力を電動車に充電することで、クリーンエネルギーを使った走行を可能にします。また、蓄電池として利用することで、電動車にためた電力を家庭で使用でき、環境への配慮だけでなく、電気料金の削減にもつなげることができます。突然の停電時には電源にもなり、家電を使えるので安心です。

マルチV2Xシステムを使って、安心して快適なEVライフを始めませんか？



暮らしに寄り添うマルチV2Xシステム

安心
ECO

電動車にためた電力を活用する



普段は電動車にためた電力を活用して、エコな生活。



停電時でも、電動車にためた電力で通常の生活を維持。

快適
V2X

V2Xとは

まずV2Hという言葉があり、これは「Vehicle to Home(車から家へ)」の略で、電動車(EV、PHEV)に搭載された蓄電池への充電だけでなく、自動車からご家庭への電力供給も行えるシステムのことを指します。「V2X」は接続先を家に限定せず、ビルや時にはネットワークといった様々なものと繋がることを表しています。

シンプルなデザインでコンパクト。 住まいを選ばず、誰もが使いやすい。

コンパクトで軽量、かつ優れた耐環境性で様々な場所に設置が可能です。壁面やスタンド設置など、お住まいや駐車場の状況に合わせて、フレキシブルに対応できます。

ご導入の前に下記Webサイトにて
対応車種をご確認ください。



https://cic-solar.jp/for_users/v2x-list/

マルチV2Xシステムに接続可能な電動車(EV・PHEV)は、当社公表の対応車種に限ります。対応車種につきましては、車名、年式、型式を含めてご確認ください。

※年式、型式が異なる場合は接続できません。



POINT.01

すっきりとしたデザインでコンパクト

主張しすぎず家屋の外観にもなじみます。EVユニットとマルチV2Xパワーコンディショナがコンパクトで場所を取らず、分離型なので別々の壁面にも設置できます。

POINT.02

高出力

平常時は最大5.9kWの高出力で同時にたくさんの家電製品を使用できます。停電時も最大6.0kVAで普段と同じように暮らせます。

POINT.03

太陽電池モジュールを直接つなげられる

太陽光で発電した電力をロスを抑えながら効率的に電動車へ充電できます。発電状況もアプリでまとめて参照でき、シンプルな機器構成で電力を最大限活用できます。

POINT.04

手軽さ

充放電コネクタを差し込むだけで準備完了。電動車に付属の車載ケーブルを取り出して接続する必要がありません。

蓄電システム「スマートPVマルチ」との連携で、 さらに便利で安心な暮らし。

V2Xと太陽光発電、蓄電池を一つのシステムのように運用できます。電動車と蓄電池間での電力の相互移動が可能になったり、停電時にもスマートPVマルチを平常時と同様に運転させることができたり、さらに安心して快適な暮らしを実現できます。

※詳しくは11ページをご確認ください。
V2X用PVユニットが接続されている場合、本動作は対応不可となります。

駐車場や家屋のレイアウト、お使いの電動車に合わせて、
適切な取付方法を選択できます。

スタンド取り付けにも対応



電動車の近くに壁がない場合はEVユニット用自立スタンド(オプション)を利用して設置可能です。

マルチV2Xパワーコンディショナは別の壁面に設置可能



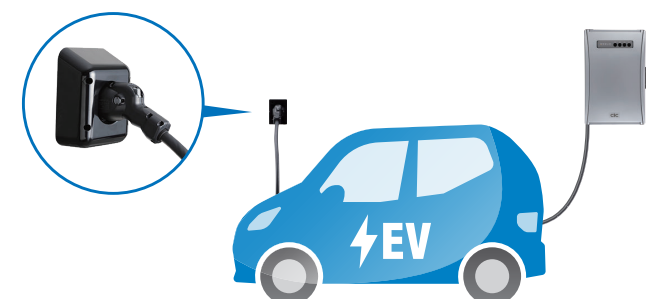
設置位置に柔軟性が生まれるため、様々な家屋の状況に対応できます。

充放電コネクタの取り付け位置を選択可能



電動車の充電ポートの位置などに合わせて、使いやすいように充放電コネクタの取り付け位置を選べます。

充放電コネクタのみを離れた位置に取り付け可能



壁付けの別体充放電コネクタホルダ(オプション)を使い、充電ポート近くにコネクタを取り付けられます。

低騒音

外部ファンを使用しないため、音が静かで生活を邪魔しません。

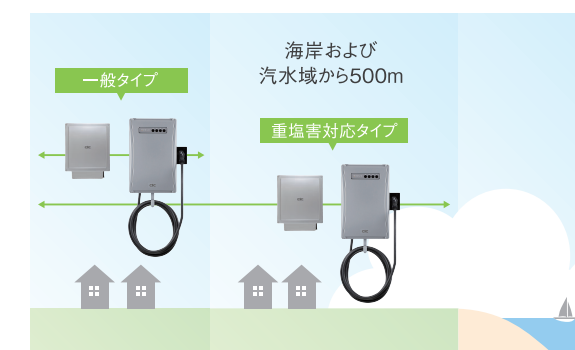
動作温度 -20℃～50℃

猛暑の夏も安心。また、EVユニットは日向にも取り付けできます。※1

※1:周囲環境が高気温、直射日光の状況によっては、充放電電力が抑制されることがあります。また電動車のバッテリー保護などの制御によっても、充放電電力が抑制されることがあります。

重塩害地域、積雪地域にも対応

重塩害対応タイプをラインナップしているため、重塩害地域にも対応可能です。また高い保護構造により積雪地域でも使用できます。



環境にやさしい暮らしと電気代の削減を 無理なく両立できる

V2Xを使えば、
電動車が大容量の蓄電池に。

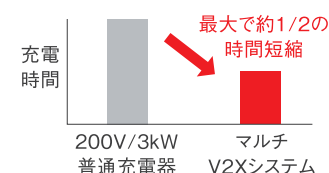
太陽光発電の余剰電力を充電すれば
購入電力量を減らすと共に、
クリーンなエネルギーでの移動も実現できます。

割安な夜間電力を活用することで
無理なく電気代の節約も可能です。

ここもポイント

倍速充電で充電時間を 大幅に短縮

200V/3kW出力の普通充電器に対し、
最大約2倍のスピードで充電できます。



充電・放電の電力の流れ



ライフスタイルに合わせて充電・放電を適切にコントロールし エコロジー&エコノミーな生活を実現

通勤などで日常的に車を使用

日中に電動車が家にないことが多い方

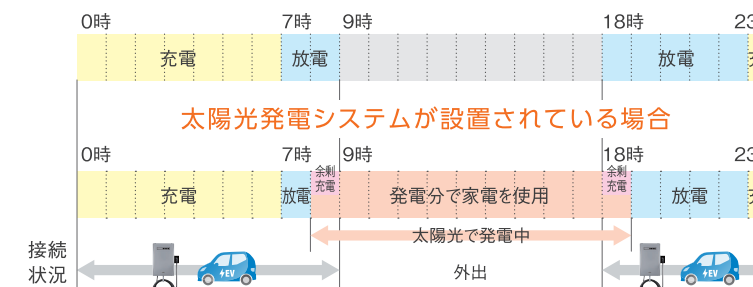


割安な夜間電力でしっかり充電し、帰宅後などの電気料金が割高な時間帯に放電すれば経済的です。

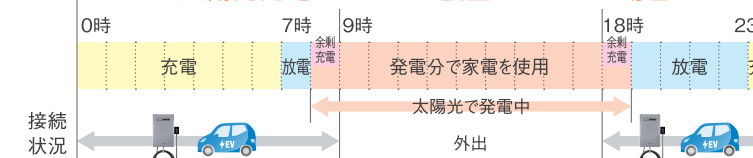
エコな充放電スケジュール例

- 電動車から放電した電力で家電を使用
して電気料金や購入電力量を削減。
- 太陽光発電の電力のうち、
家電で使いきれない電力(余剰電力)を電動車に充電。
- 安価な夜間電力*1で電動車に充電。

太陽光発電システムがない場合

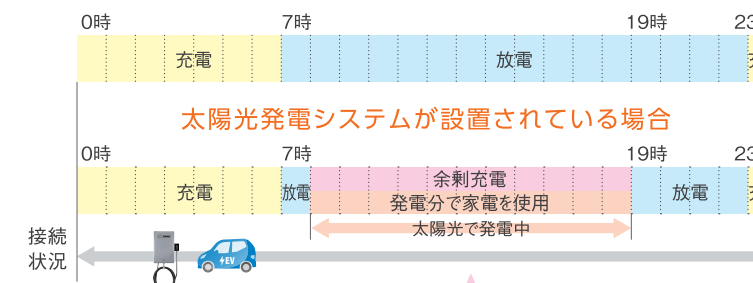


太陽光発電システムが設置されている場合

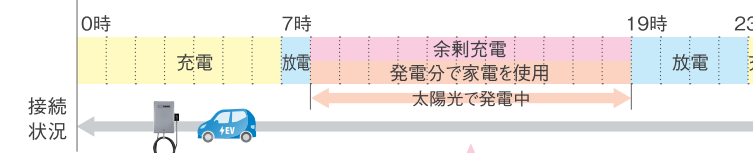


ここがエコノミー 家電での消費を発電で賄えない時に
電動車から放電して電気料金を削減します。

太陽光発電システムがない場合



太陽光発電システムが設置されている場合



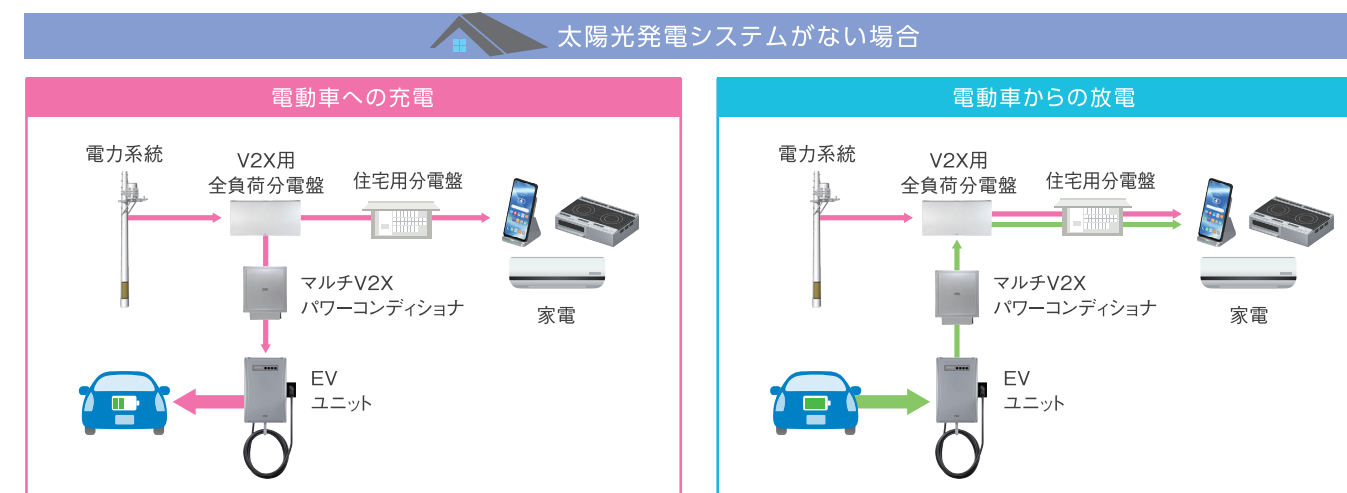
太陽光発電との併用
でもっとエコロジー 発電量が家電での消費を上回っている時は、
余剰電力を電動車に充電します。

※1: 23～7時の時間帯を料金が安価な夜間電力と想定しています。

マルチV2Xシステムは
ここも快適!

充放電コネクタの電動車への接続と簡単なボタン操作により、あらかじめ決めたスケジュールで
充放電を実行。スケジュールの設定・変更はスマートフォンでいつでもどこでも簡単に行えます。

詳しくはP.9へ



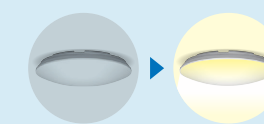
災害などで停電した場合も ためた電力で快適な暮らしを維持

停電が発生した際、
電動車から電力が供給されるため安心です。
またマルチV2Xシステムは家中すべての家電に給電できるため、
食事や入浴などを普段通りに行うことができ、
夏の暑さや冬の寒さの心配もありません。

突然の停電時にも、切替操作が不要で安心

停電が発生した際、
暗い中で電源の切替操作を行うのは大変です。
マルチV2Xシステムは自動切替機能が
搭載されているので、複雑な切替操作は不要。
電力が供給され^{※1}、停電が復旧した際も自動で通常運転に戻ります。
停電時の太陽光発電からの充電電力調整も自動で行われるため、
発電電力を最大限活用できます。

停電発生時、複雑な分電盤などの
切替操作不要で電力を供給



災害時の情報源、
連絡手段もすぐに
確保できます

停電時も家中の家電を使用できるので安心

マルチV2Xシステムを使用すれば200Vの家電まで使用可能です。
エアコンやIH調理器など全ての家電を使用できるため、普段通りに過ごせます。

非常時でも欠かせない家電を使用可能

200V仕様の家電も使用できます



すべての家電に給電できます (最大6.0kVA^{※3})

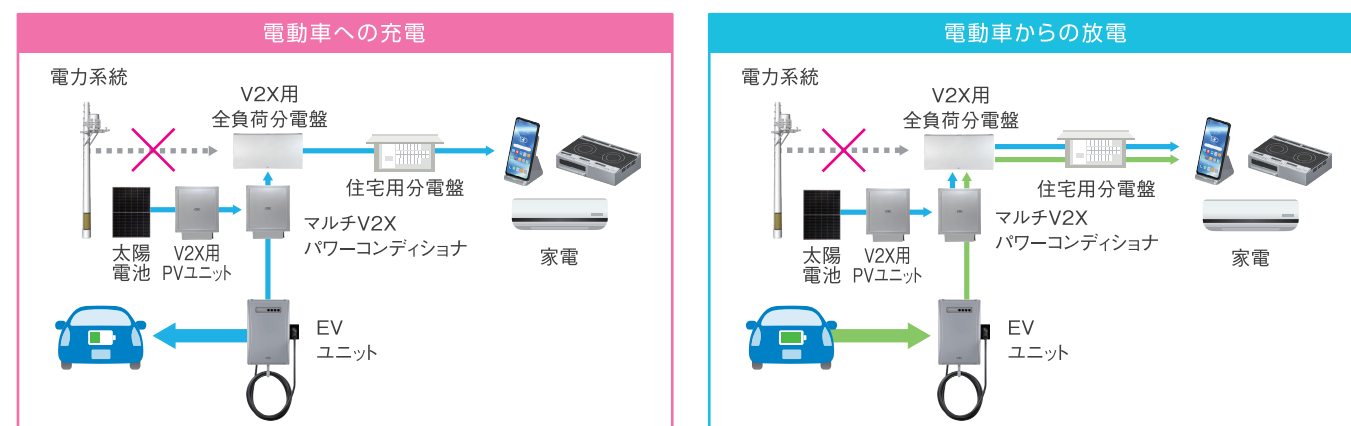
※1：電動車が放電できる状態にある、またはV2X用PVユニットにより接続されている太陽光発電が発電している必要があります。電動車が接続されていない場合の出力は太陽光発電の発電電力によります。一部の車種ではマルチV2Xシステムの起動用電源確保のための接続操作が必要になります。
※2：「エコキュート」は、関西電力(株)の登録商標です。
※3：停電時に必要のない機器を接続して使い続けると、電動車の蓄電池の残量が不足し、ご家庭内で電力が使えなくなる場合があります。機器をOFF、ブレーカを落とすなどして調整してください。
○併設されている太陽光発電システムからの電力供給は、太陽光パワーコンディショナの仕様に従います。
○使用する電気製品や併設される太陽光発電システムによっては、照明機器でちらつきが発生する場合があります。

停電時の充電・放電の電力の流れ

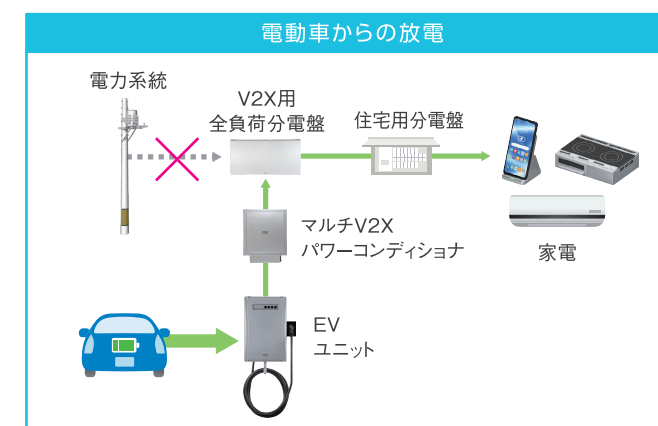
災害などで停電した際はマルチV2Xシステムを介して、
電動車から電力が供給されます。



太陽光発電システムが設置されている場合



太陽光発電システムがない場合



停電時でも併設の太陽光パワーコンディショナを
平常時と同じように運転させられます。
(併設の太陽光発電システムがある場合)



通常の太陽光パワーコンディショナでは、停電時には自立運転により
発電電力が最大でも1.5～2.0kVA程度に制限されます。
マルチV2Xシステムがあれば、停電時でも併設の太陽光パワーコン
ディショナを平常時と同様に制限なく運転させることができます。
(本動作が可能な太陽光パワーコンディショナは対象機種に限り、またV2X用PVユニットが
接続されている場合、本動作は対応不可となります。詳しくは販売店にお問合せください。)

充放電のコントロールも簡単、 EVライフをもっとエコで快適に

スケジュール設定により自動的に充放電をコントロール

充電もしくは放電を優先する時間帯や、発電や消費の状況によって自動で充放電を切り替える時間帯を自由に設定できます。

(スケジュールは2パターン設定可能で、曜日ごとに選択できます。)

以下の4つの動作種別を時間帯ごとに組み合わせることで、最適なスケジュールを構築できます。

動作種別	動作内容(充放電コネクタが車両に接続され、ロックされていることが前提となります。)
通常充電	電動車を充電します。
通常放電	電動車から放電します。
余剰充電 ※1	電動車を太陽光発電の余剰電力でのみ充電します。
自家消費 ※1	太陽光発電の余剰電力を電動車に充電します。発電電力を消費電力が上回った場合は電動車から放電します。

※1太陽光発電設備がある場合のみ有効です。一定以上の発電電力に満たない場合、余剰電力での充電が開始されないことがあります。

停電に備えて電力を蓄えておく「安心モード」

突然の停電に備えるため、電動車の蓄電残量をご利用者様にて設定された値を下回っている場合に自動で充電を行う機能を有しています。

急にスケジュール変更が必要になっても スマートフォンで手軽に対応



専用スマートフォン アプリ

スマートフォンアプリで、いつでもどこでも充電・放電をコントロール。急に電動車に乗ることになっても、外出先から充電残量をチェックしてすぐに充電を開始できます。

アプリで充電残量を確認

アプリの操作で充電開始

充電
スタート

ここを押すと
充電開始

スマートフォンの他、ご自宅のゲートウェイからも設定を変えることができます。
また、EVユニットではスケジュール運転と手動充電・放電を切り替えることができます。



太陽光発電システム

クリーンな太陽エネルギーを電力に変換。
高い発電性能で効率よく電力をつくる。

信頼の性能と品質

日本の厳しい気候条件の中で長期間にわたって性能を維持しなければならない太陽電池モジュール。
長州産業では、そのために必要な信頼性を第一に考え、国内自社拠点での開発、組立にこだわっています。
『より良いものを、より長く使う』ことによって、太陽光発電システムの生涯発電量が増し、
結果的に割安な電力を得ることにつながります。

ニーズに応える豊富なラインナップ

機種	Bシリーズ			
品番	CS-364B91	CS-243B91	CS-120B91S	CS-120B91L-R
種別	単結晶			
イメージ				
	CS-364B91、ハーフ、 台形と組み合わせ可能		ハーフモジュール	台形モジュール
公称最大出力※1	364W	243W	120W	120W
モジュール変換効率※2	20.5%	20.2%	19.1%	16.6%
公称最大出力動作電圧	28.2V	18.7V	9.3V	9.3V
公称最大出力動作電流	12.92A	13.02A	12.98A	12.98A
公称開放電圧	33.3V	22.4V	11.1V	11.1V
公称短絡電流	13.39A	13.41A	13.38A	13.38A
質量	18.9kg	13.1kg	6.6kg	8.7kg
寸法	1,544×1,148×40mm	1,544×780×40mm	804×780×40mm	1,253×780×40mm
メーカー希望小売価格(税込)	¥238,260	¥159,060	¥78,540	¥78,540

※1:公称最大出力の数値は、JIS C 61215-2で規定するAM1.5、放射照度1,000W/m²、モジュール温度25℃での値です。

※2:太陽電池モジュールの変換効率(%)は $\frac{\text{モジュール公称最大出力(W)}}{\text{モジュール面積(m}^2\text{)} \times 1000(\text{W/m}^2)}$ ×100の計算式を用いて算出しています。変換効率とは、太陽光エネルギーから電気エネルギーに変換したときの割合を表します。

例:太陽電池モジュール16枚、5.82kWシステムにて 快晴(放射照度1000W/m²)、温度補正係数91.5% CS-364B91で計算しています。

発電電力は最大でも次の損失により、太陽電池容量の70~80%程度になります。

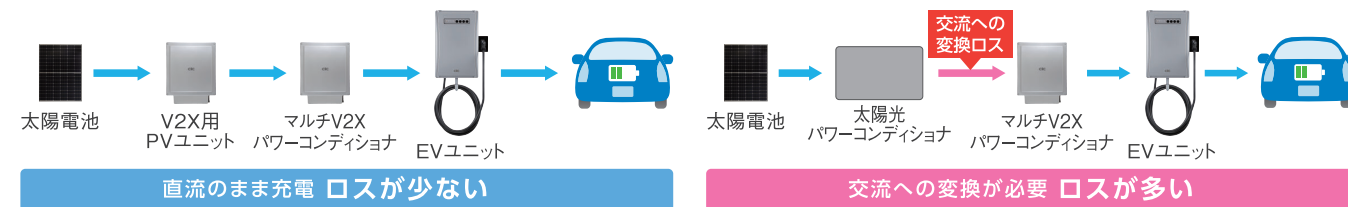
太陽電池容量 5.82kW × 温度補正係数 91.5% × 交流変換効率 93.5% × 経時変化補正係数 95% × アレイ回路補正係数 97% = 発電電力 4.58kW

V2X用PVユニットにより太陽電池モジュールを直接接続。 ロスを抑えて発電電力を効率的に電動車へ充電できます。

発電電力を電動車に充電する際、併設の太陽光パワーコンディショナがある場合は一旦交流への変換が必要となり、ロスが多くなります。V2X用PVユニットの場合は交流への変換が不要のため、ロスを抑えて発電電力を有効活用できます。

→ 直流 → 交流

●V2X用PVユニットの場合



PIDリスクがある太陽電池モジュールでも接続可能です。

PIDリスクとは太陽電池モジュールに高電圧による負荷がかかることで、出力が著しく低下してしまうリスクのことです。独自の技術によりPIDリスクが発生しにくい制御を実現しています。

※接続できない太陽電池モジュールもあります。詳しくは販売店にお問い合わせください。



スマートPVマルチとの連携[スマートマルチリンク]

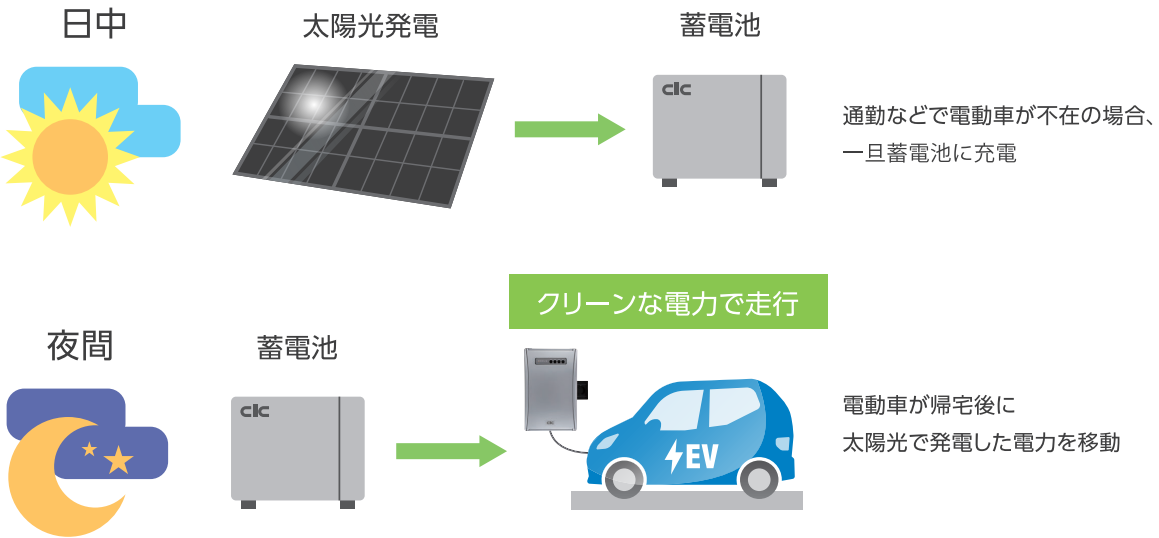


スマートマルチリンクでさらに便利に。

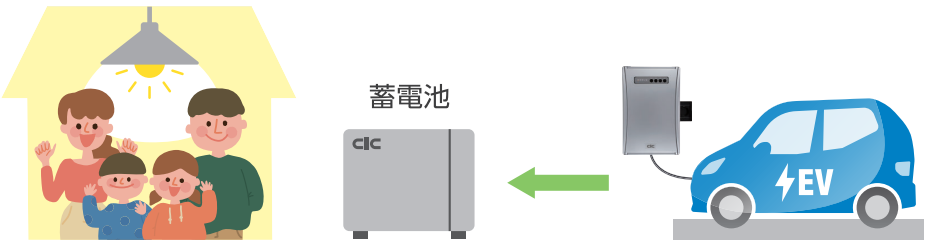
V2Xと太陽光発電、蓄電池を一つのシステムのように運用できるようになり、電力の効率的な利用と停電時のさらなる安心を実現します。
(V2X用PVユニットが接続されている場合、本動作は対応不可となります。)

1. 電動車と蓄電池の間で電力を移動できる。

通勤などで電動車が不在の場合でも、太陽光で発電した電力を一旦蓄電池にため、帰宅後に電動車に移動できます。
これによりクリーンエネルギーによる走行と、電動車を充電するための購入電力量の削減ができます。

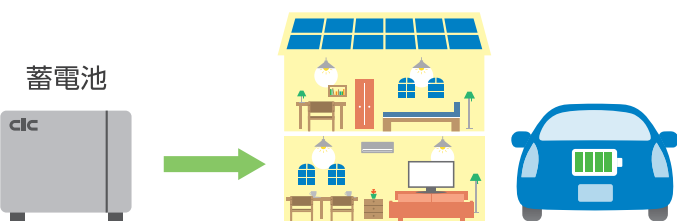


また、災害時などは停電していない地域から電動車で電力を運んできて蓄電池に充電することもできます。
これにより、曇りの日が続いた場合でも電力を継続して使用できる可能性があります。



2. 電動車と蓄電池のどちらを優先して充放電するかを決められる。

遠方へのお出かけの際は蓄電池からの放電を優先して、電動車の電力をなるべく残しておくといった運用が可能になります。



3. 停電時もスマートPVマルチの性能を最大限引き出せる。

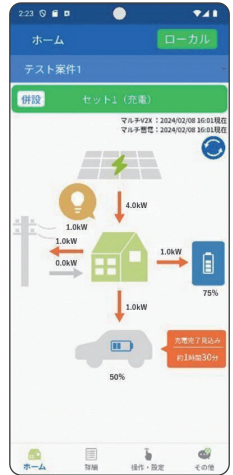
停電時、スマートPVマルチ単体では供給できる電力が制限される場合があります。
マルチV2Xシステムと組み合わせれば、平常時と同様の運転が可能となり、性能を最大限発揮できるようになります。

停電時に供給できる電力の最大値 (蓄電池12.7kWhタイプの場合)	ハイブリッド全負荷タイプ		ハイブリッド特定負荷タイプ		単機能特定負荷タイプ	
	供給可能電力	蓄電池放電電力	供給可能電力	蓄電池放電電力	供給可能電力※1	蓄電池放電電力
マルチV2Xシステムなし	4.0kVA	4.0kW	2.0kVA	2.0kW	2.0kVA	2.0kW
マルチV2Xシステム併設	5.6kW	5.0kW	5.6kW	5.0kW	5.0kW	5.0kW

※1:単機能特定負荷タイプの供給可能電力は併設の太陽光発電システム(設置されている場合)からの供給電力も含みます。
(停電時に供給できる電力は、マルチV2XシステムとスマートPVマルチ合わせて最大6kWです。)

4. 情報表示や設定は1つのアプリで。

太陽光発電、蓄電池、電動車の電力状況の確認や、充放電スケジュールの設定を
専用スマートフォンアプリで一括して行えます。



アプリ画面(イメージ)

既に設置されているスマートPVマルチとも連携可能。

必要に応じてインターネット経由によるソフトウェアの更新を行い、スマートマルチリンクに対応します。

蓄電システム スマートPVマルチの単機能特定負荷タイプおよび太陽光発電システムと併設している場合、停電時(自立運転時)に電動車と蓄電池の間で電力を移動している際に太陽光発電の出力変動が発生すると、スマートPVマルチや太陽光発電システムが停止するなど電力状況が不安定になる可能性があります。停電時の日中(太陽光発電システムの発電時)は、電動車と蓄電池間の電力の移動は推奨しません。

セット構成およびメーカー希望小売価格 [機器セット]、[必須別売品]を組み合わせでご発注ください。

【機器セット】

タイプ	セット型式(発注品番)	構成機器	メーカー希望小売価格(税込)
一般タイプ	CV-M02A-N	●マルチV2X/パワーコンディショナ(一般タイプ)/PCS-RV2A●EVユニット/VCS-59RV2A ●マルチV2Xシステム用ゲートウェイ/RC-309A●充放電コネクタ付ケーブル/KP-CHK-L10UDB75N	¥1,408,000
重塩害対応タイプ	CV-MS02A-N	●マルチV2X/パワーコンディショナ(重塩害対応タイプ)/PCS-RVS2A●EVユニット/VCS-59RV2A ●マルチV2Xシステム用ゲートウェイ/RC-309A●充放電コネクタ付ケーブル/KP-CHK-L10UDB75N	¥1,573,000

【必須別売品】各機器、ケーブル、センサにて適切な種類、長さ、サイズのものを選択してください。

品名		品番(発注品番)	メーカー希望小売価格(税込)
分電盤	統合全負荷分電盤	KCC75T1 (マルチV2XシステムとスマートPVマルチ併設の場合の一体型)	¥594,000
	V2X用全負荷分電盤	KP-DB75B-EP (マルチV2Xシステム専用)	¥352,000
EVユニット入出力ケーブル		KP-CHL-F2VDB03ND3 (3m)	¥21,010
		KP-CHL-F2VDB07ND3 (7m)	¥30,470
		KP-CHL-F2VDB20ND3 (20m)	¥65,340
		KP-CHL-F2VDB30ND3 (30m)	¥76,560
		KP-CHG-E8VB03S (3m)	¥10,890
蓄電池・EVユニット通信ケーブル		KP-CHG-E8VB07S (7m)	¥16,830
		KP-CHG-E8VB20S (20m)	¥25,960
		KP-CHG-E8VB30S (30m)	¥38,940
		KP-CH-B8VG03S (3m)	¥6,600
パワコン・計測ユニット間用 屋内外通信ケーブル		KP-CH-B8VG05S (5m)	¥6,820
		KP-CH-B8VG15S (15m)	¥7,040
		KP-CH-B8VG30S (30m)	¥12,980
主幹電流センサ		KP-CT-S16AC100A (Φ14.5) (絶縁型)	¥8,800
		KP-CT-S24AC100A (Φ24) (絶縁型)	¥13,860
		KP-CT-S35AC100A (Φ35.5) (絶縁型)	¥25,080
主幹電流センサケーブル		KP-CHI-C4VB15S2 (15m) (絶縁型)	¥15,400
		KP-CHI-C4VB30S2 (30m) (絶縁型)	¥30,800

オプション

品名	品番(発注品番)	メーカー希望小売価格(税込)	備考
V2X用 PVユニット	一般タイプ	¥981,200	太陽電池モジュールを接続する場合に使用。 (V2X用PVユニットはマルチV2X/パワーコンディショナの旧品番PCS-RV1A、PCS-RVS1Aには非対応です。)
	重塩害対応タイプ	¥1,053,800	
DC/DCコンバータ通信ケーブル2.9m	KP-CHE-E8VDB029S	¥8,800	V2X用PVユニットを接続する場合に使用。 (長さが5mのものもあります。長さによって価格は異なります。)
PVユニット入出力ケーブル 2.9m	KP-CHJ-F2VDB029ND3	¥7,700	
EVユニット用自立スタンド	KP-FRDV	¥108,900	EVユニットを壁に掛けず、自立させる際に使用。
簡易基礎 (EVユニット用自立スタンド用)	SEV600	¥97,900	耐震クラスA。
	SEV500	¥53,900	耐震クラスB。
別体充放電コネクタホルダ	KP-DDAP-HO	¥22,000	充放電コネクタ付ケーブルのコネクタを保持するホルダ。
12Vシガーケーブル	KP-CHM-M2VDB10N	¥22,000	停電時、充放電コネクタ付ケーブルから電力供給を受けられない場合に使用。(ケーブル長10m)
表示ユニット	KP-GWAP-D	¥88,000	充放電の状態や車両電池残量の確認、設定の変更が可能。 ※屋内でWi-Fiが届く範囲内でのご使用となります。



表示ユニット



保証の対象機器に製造上の不具合が生じた場合

構成機器

マルチV2Xパワーコンディショナ、EVユニット、充放電コネクタ付ケーブル、
マルチV2Xシステム用ゲートウェイ、V2X用全負荷分電盤、V2X用PVユニット
(統合全負荷分電盤KCC75T1は15年保証、表示ユニットKP-GWAP-Dは1年保証です。)

外形寸法 (単位:mm)

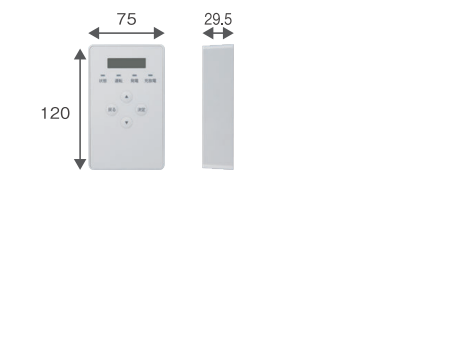
マルチV2Xパワーコンディショナ／V2X用PVユニット



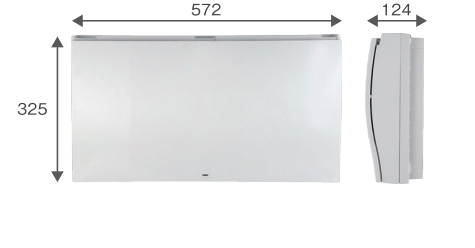
EVユニット



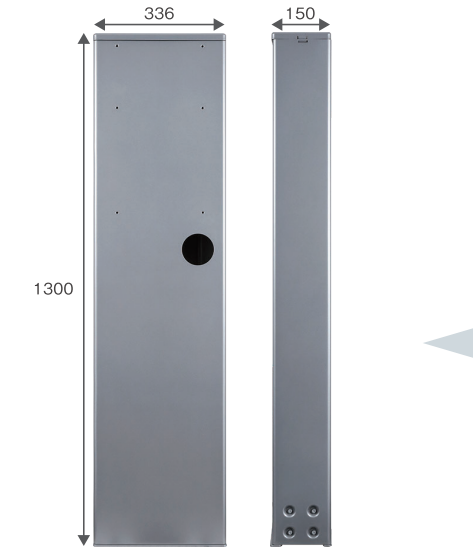
マルチV2Xシステム用ゲートウェイ



V2X用全負荷分電盤



EVユニット用自立スタンド



別体充放電コネクタホルダ



統合全負荷分電盤



仕様表

マルチV2Xパワーコンディショナ

品番	PCS-RV2A		PCS-RV52A
タイプ	一般タイプ		重塩害対応タイプ
直流入力 (V2X用PVユニット)	最大入力電力	単機能:一/ハイブリッド:6.6kW	
	最大入力電圧	単機能:一/ハイブリッド:DC450V	
交流出力	定格容量	単機能:5.9kW(力率1.0)/ハイブリッド:5.9kW(力率0.95)	
	定格電圧	AC202V(AC101V、2相)	
	定格周波数	50Hz/60Hz	
絶縁方式	電力変換効率(太陽光)	93.5%(定格出力時)	
		非絶縁トランスレス方式	
電気方式	連系運転時	単相2線式(単相3線式配電線に接続)	
	自立運転時	単相3線式	
自立運転時の定格出力		6.0kVA(片相3.0kVA)	
自立運転時の定格電圧		AC202V/101V	
自立運転時の定格周波数		50Hz/60Hz	
設置環境	海岸および汽水域から500mを超える屋外設置※1		屋外設置※1※2
使用周囲温度	-20～50℃(ただし結露および氷結なきこと)		
使用周囲湿度	25～95%RH(ただし結露および氷結なきこと)		
外形寸法(横×高さ×奥行き)	450mm×562mm×232mm(ケーブルボックスを含む)		
質量	本体:約21kg、ケーブルボックス:約1kg、取付けベース板:約2.5kg		
冷却方式	自然空冷		
ケース材質	本体:金属ケース、ケーブルボックス本体:金属、ケーブルボックスカバー:樹脂		
ケース外装色	フロント:シルバー、サイド/リア:ダークグレー、ケーブルボックス:ダークグレー		
取付け方式・方法	壁掛け・ネジ止め		
保護構造	IP55		IP66

[放電時の電力購入について] 電動車からの放電時、放電電力が商用系統に逆流しないように約0.1kWを購入します。

EVユニット

品番	VCS-59RV2A		連系運転時入出力電力	5.9kW(交流側)
タイプ	一般タイプ・重塩害対応タイプ共用		自立運転時入出力電力	6.0kVA(交流側)
表示機能	LED5個(電源:黄、充電:橙、放電:緑、ロック:黄、異常:赤)		絶縁方式	高周波絶縁方式
操作機能	操作ボタン4個(充電、放電、自動、停止)		設置環境	屋外設置※2
充放電コネクタ付ケーブル長	7.5m	使用周囲温度	-20～50℃(ただし結露および氷結なきこと)※3	
直流入出力 (EV/PHEV)	入力電圧範囲	150～450V	使用周囲湿度	25～95%RH(ただし結露および氷結なきこと)
	入出力数	1	外形寸法(横×高さ×奥行き)	536mm×788mm×264mm(ケーブルホルダ、充放電コネクタホルダを含む) 430mm×660mm×264mm(ケーブルホルダ、充放電コネクタホルダを除く)
	最大充放電電流	25A		
質量	本体:約25kg、取り付けベース板(取り付けベース板天面カバー・底面カバー含む):約4.2kg、 正面ネジカバー:約0.3kg、充放電コネクタ付ケーブル(7.5m):約5.1kg、ケーブルホルダ:約0.3kg、充放電コネクタホルダ:約0.8kg、配線部カバー:約0.3kg			
冷却方式	自然空冷			
材質	ケース本体:アルミ、ケーブルホルダ:アルミ、充放電コネクタホルダ:樹脂とスチール			
ケース外装色	フロント:シルバー、サイド/リア:シルバー			
取付け方式・方法	壁掛け/自立架台・ネジ止め			
保護構造	本体:IP66 充放電コネクタ付ケーブル:IP56			

マルチV2Xシステム用ゲートウェイ

品番	RC-309A
接続台数	マルチV2Xパワーコンディショナ1台
通信方式	無線LAN(2.4/5 GHz、IEEE802.11b/g/n/a)、有線LAN(100Base-TX)
表示部	モノクロLCD(16文字×2行)
操作方法	操作スイッチ4個、リセットスイッチまたは遠隔モニタリングサービス使用
外部インターフェイス	LANポート、USBコネクタ(TypeA) 32GBまでのUSB2.0準拠のUSBメモリ
通信プロトコル	ECHONET Lite**、電気自動車充電器 Release P.1、分電盤メータリング Release P.1※5
通信仕様認証規格	ECHONET Lite規格適合性認証***(規格書バージョンVer.1.13) ECHONET Lite AIF仕様適合性認証***(電気自動車充電器/ 電気自動車充電器・HEMSコントロール 間 Ver.1.30)
外形寸法(横×高さ×奥行き)	75mm×120mm×29.5mm
動作電源	マルチV2Xパワーコンディショナより給電
設置環境	屋内設置
使用周囲温度	-20～50℃(ただし結露および氷結なきこと)
使用周囲湿度	25～95%RH(ただし結露および氷結なきこと)
質量	約140g
取付け方式・方法	壁掛け・ネジ止め
保護構造	IP20相当
ケース材質	PC+ABS
ケース外装色	白
遠隔モニタリングサービス	遠隔モニタリング、遠隔設定、異常時メール送信

V2X用PVユニット

品番		DCS-66RV2A	DCS-66RV52A
タイプ		一般タイプ	重塩害対応タイプ
PV 直流入力	定格入力電圧	DC320V	
	入力回路数	4	
	MPPT数	4	
	動作電圧範囲 (MPPT)	運転可能電圧範囲:DC25～450V 最大電力追従 (MPPT) 範囲:DC35～440V	
	入力電流範囲	許容最大短絡電流:66.4A (16.6A/1回路) 最大動作電流:56A (14.0A/1回路)	
直流出力	最大入力電力	2.5kW/1回路 6.6kW/4回路	
	最大出力電圧	DC450V	
設置環境		海岸および汽水域から500mを超える屋外設置※1 屋外設置※1※2	
使用周囲温度		-20～50℃(ただし結露および氷結なきこと)	
使用周囲湿度		25～95%RH(ただし結露および氷結なきこと)	
外形寸法(横×高さ×奥行き)		450mm×562mm×232mm(ケーブルボックスを含む)	
質量		本体:約13kg、ケーブルボックス:約1kg、取付けベース板:約2.5kg	
冷却方式		自然空冷	
ケース材質		本体:金属ケース、ケーブルボックス:本体:金属、ケーブルボックス:カバー:樹脂	
ケース外装色		フロント:シルバー、サイド/リア:ダークグレー、ケーブルボックス:ダークグレー	
取付け方式・方法		壁掛け・ネジ止め	
保護構造		IP55	IP66

V2X用全負荷分電盤

品番	KP-DB75B-EP
定格入力電圧	AC202V
電気方式	単相3線式
定格電流	合計75A
設置環境	屋内設置
使用周囲温度	-5～40℃(ただし結露および氷結なきこと)
使用周囲湿度	45～85%RH(ただし結露および氷結なきこと)
外形寸法(横×高さ×奥行き)	572mm×325mm×124mm
質量	約7.2kg
ケース外装色	白
取付け方式・方法	壁掛け・ネジ止め

統合全負荷分電盤

品番	KCC75T1
定格入力電圧	AC202V
電気方式	単相3線式
定格電流	合計75A
設置環境	屋内設置
使用周囲温度	-5～40℃(ただし結露および氷結なきこと)
使用周囲湿度	45～85%RH(ただし結露および氷結なきこと)
外形寸法(横×高さ×奥行き)	619mm×320mm×178mm
質量	約16kg(取付け板含む)
ケース外装色(マンセル値)	フロントカバー 8GY9.7/0.2 本体 N9.0
取付け方式・方法	壁掛け・ネジ止め

EVユニット用自立スタンド

品番	KP-FRDV
外形寸法(横×高さ×奥行き)	336mm×1300mm×150mm
質量	約18kg
設置環境	屋外設置
取付け方式・方法	自立設置
材質	金属
外装色	シルバー
備考	EVユニットを自立設置する際にご使用ください。 本体は基礎にて固定してください。

別体充放電コネクタホルダ

品番	KP-DDAP-HO
外形寸法(横×高さ×奥行き)	177mm×226mm×90mm
質量	約1kg
設置環境	屋外設置
取付け方式・方法	壁面取付・ネジ止め
材質	充放電コネクタホルダフレーム:金属、充放電コネクタホルダカバー:樹脂
外装色	充放電コネクタホルダフレーム:シルバー、充放電コネクタホルダカバー:ブラック
備考	充放電コネクタをEVユニットとは別に 収納する際にご使用ください。

表示ユニット※6

品番	KP-GWAP-D	設置環境	屋内設置
通信方式	無線LAN(2.4GHz、IEEE802.11b/g)	使用周囲温度	0～40℃(ただし結露および氷結なきこと)
表示部	7インチカラー液晶ディスプレイWVGA(1024×600)	使用周囲湿度	25～85%RH(ただし結露および氷結なきこと)
操作方法	電源ボタン、タッチパネル、タッチボタン	質量	約370g(本体のみ)
外部インターフェイス	SD/SDHCカードスロット SDカード2GBまで(FAT16)、SDHCカード32GBまで(FAT32)	取付け方式・方法	壁面取付け・ネジ止め、またはスタンド固定・卓上設置
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	190mm×134mm×24mm (壁掛プレート、スタンド含まず)	保護構造	IP20相当
動作電源	AC100V(ACアダプタ入力)	ケース材質	ABS
最大消費電力	7W(14VA)以下	ケース外装色	白

※1:直射日光が当たる場所に設置しないでください。 ※2:直接波しびきが当たる場所に設置しないでください。 ※3:周囲環境が高湿時、直射日光の状況によっては、充放電電力が抑制されることがあります。
※4:ECHONET Lite対応機器とは、一般社団法人エコネットコンソーシアムが発行したECHONET Lite規格およびアプリケーション通信インターフェース仕様(ECHONET Lite AIF 仕様)に準拠した機器です。
ECHONET Lite、ECHONET Lite AIF、ECHONETロゴマークは、一般社団法人エコネットコンソーシアムの登録商標です。
※5:電力計測ユニット接続時のみ使用可能です。 ※6:表示ユニットを使用できるゲートウェイのソフトウェアはVer.3.1以上です。